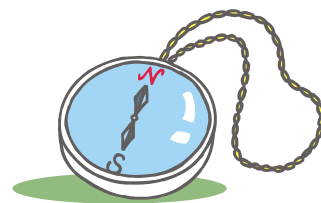


# 羅 針 盤



第 6 号 令和8年5月18日（月）

## ◆ 「知・徳・体（ち・とく・たい）」

学校では、「知・徳・体（ち・とく・たい）」のバランスのとれた教育活動が重要視されています。「知・徳・体」とは、知育、徳育、体育という現代社会で生きるための「生きる力」の3つの要素を指し示すものであり、教育活動の根幹を成しているものです。確かな知識や学力を育む「知育」と、豊かな人間性や感性を育む「徳育」、そして、健康な心身（体）を育む「体育」をバランスよく養うことによって、情報化が進みゆく現代社会において、自ら主体的に考え、行動する力を構築していくことにあります。柴島中学校の学校教育目標である、「創意と工夫にあふれる教育の推進」についても、この3つの要素である「知・徳・体」をバランスよく育てることが、大事な考え方の方向性を示すものとなっているはずで、生徒の皆さんが毎日通っている学校と、英語や習字、ピアノといった習い事のために通う塾とでは、どのように違うのでしょうか。まず一つ目に、「知育」を養うために、学校は「**頭を鍛える**」ところであるということ。学校には、生徒の皆さんが国語や数学、社会などを学習する教室があります。音楽や美術、あるいは、理科の実験や家庭科の調理実習などを行う特別教室もあります。生徒の皆さんにとっては、勉強をすることが大事な仕事です。大人になって働いてみるとわかることもたくさんあります。特に、油断大敵という思いをする場面に出くわすことが増えるかと思えます。日頃の授業でも、緊張感を持ちながら、気を緩めることなく、自分の考えをしっかりと発表することがとても大事なことだと思います。基礎的な知識や技能を身につけ、課題を発見し解決する力や、学び続ける意欲を持ち続けてもらいたいものです。二つ目に、「徳育」を養うために、学校は「**心を鍛える**」ところであるということ。学校には、道徳の時間や学級活動、部活動の時間があります。また、校外活動の取り組みや、避難訓練なども行われます。道徳の時間には、人としてあるべき姿、自分勝手な気持ちを抑えて我慢することや、親切にする気持ち、人として成長するために頑張り続けることなどを学習します。学級活動では、仲間と協力することや互いに違いを認め合っって励ましあうことなどを学習します。また、校外活動では社会でのモラルや規範意識、避難訓練では災害が起こった時に命を守るべき行動といったことを学習します。豊かな感性や他者を思いやる心を育み、多様な価値観を肯定的に捉え、社会や他者と共生する力を蓄えてもらいたいものです。三つ目に、「体育」を養うために、学校は「**体を鍛える**」ところであるということ。体育の授業だけでなく、柴中フェスタスポーツ発表の部、あるいは、球技大会、また、音楽や美術の授業でも、体や手を使って作業をしたり、表現活動に取り組んだり、時には全身を使って汗を流しながら頑張ることもとても大事なことです。健康な

心身を維持しながら、規則正しい生活習慣を身につけ、たくましく生きていくための体力や心身のバランスといったものをしっかりと蓄えてもらいたいものです。中学校卒業後の姿を見据えて、自分の進むべき道を見つけ出し、それぞれがそれぞれの道に向かって力強く踏み出していくための基礎となるべき「知・徳・体」は、将来の社会で活躍するためには欠かせないことであるはずで、中学校で過ごす三年間で、しっかりと身につけてもらいたいと思います。

